

国語科 3 学年の学習

1 学習の目標

- (1)社会生活に関わることなどについて、目的や場面に応じて話す能力、評価しながら聞く能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして自分の考えを深めようとする態度を育てる。
- (2)社会生活に関わることなどについて、目的や意図に応じて、論理の展開を工夫して書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを深めようとする態度を育てる。
- (3)目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して自己を向上させようとする態度を育てる。

2 学習内容

月	単 元 名	目 標	教 材 名
4 5	1 深まる学びへ	表現の豊かさを味わい、生き方を考える。	詩「世界はうつくしいと」 小説「握手」 漢文「学びて時に之を習ふ」 漢字「熟語の読み方」
6	2 視野を広げて	問題意識をもち、社愛威視野を広げる	論説「作られた『物語』を超えて」 資料「リオの伝説のスピーチ」 文法「すいかは幾つ必要？」
7	3 言葉を見つめる	言葉と心のつながりを考える。	俳句「俳句の可能性」「俳句を味わう」 言葉「和語・漢語・外来語」
	読書生活を豊かに	〔硬筆〕文字を文化として認識し、意図を明確にして行書を書く 「私の一冊」を探しに行こう・「羊と鋼の森」	
9	4 状況の中で	多様な状況の中で生きる人の姿に思いをさせ、考えを深める	詩「挨拶」 小説「故郷」 言葉「慣用句・ことわざ・故事成語」 漢字「漢字の造語力」
10 11	5 自らの考えを	対象を評価し、多様性の中で自分の考えを確立する	論説「人工知能との未来」 論説「人間と人工知能と創造性」 「合意形成に向けて話し合おう」 詩「初恋」
12	6 いにしへの言葉を受け継ぐ	作品の背景を想像して読み、古典の心を今に生かす	古典「和歌の世界」 古文「古今和歌集 仮名序」 「君待つと」「夏草」 古文・漢文「古典名句・名言集」
	7 価値を生み出す	人との関わりの中で、新しい価値を創造する	論説「誰かの代わりに」 「情報を読み取って文章を書こう」 漢字「漢字のまとめ」 文法「『ない』の違いがわからない？」
1 2 3	8 未来へ向かって	これまでを振り返り、これからを見つめる	随想「温かいスープ」 詩「わたしを束ねないで」 卒業文集
	3年間の復習（入試対策）		

3 評価の方法

次の3つの観点を3段階（ABC）で評価し、その結果を総合的に判断して5段階（54321）の評定を決定します。

国語科の3つの観点	根拠となる学習内容
知識・技能（言葉の特徴や使い方に関する事項） （情報の扱い方に関する事項） （我が国の言語文化に関する事項）	定期テストの結果・小テスト・授業への取り組み
思考力・判断力・表現力等 （話すこと・聞くこと）（書くこと）（読むこと）	定期テストの結果・スピーチ・作文課題等
主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み・提出物の内容・定期テストの結果

4 授業の約束

- ①提出物の期限を守る。 ②言葉遣い、文字を丁寧に正しく。 ③積極的に自分の意見を発表する。